

ESD推進ネットワークについて

平成30年2月21日
環境省 文部科学省



ESD推進ネットワークの構築に向けた議論

平成26年11月 「ESDIに関するユネスコ世界会議」においてDESDの後継プログラムとして「ESDIに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」の開始が正式発表

平成27年7月～ ESD活動支援企画運営準備委員会において検討開始

平成28年3月 「我が国における『持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」（ESD国内実施計画）が関係省庁連絡会議で決定

【ESD国内実施計画（抜粋）】

①政策的支援（ESDに対する政策的支援）

c) 多様なステークホルダーの連携促進に関すること

・全国的なESD支援のためのネットワーク機能の体制整備

ESD関係省庁連絡会議及びESD円卓会議での議論を踏まえ、ESD活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、地域活動拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる「ESD活動支援センター（全国・地方）」を整備し、地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく。

⑤地域コミュニティ（ESDを通じた持続可能な地域づくりの参加の促進）〈再掲〉

ESD推進ネットワーク

4つの「はたらき」

- 情報・実践の共有
- ESD支援体制の整備
- 学びあいの促進
- 人材の育成

3つの「つなぐ」

- 多様なテーマをつなぐ
- 地域をこえてつなぐ
- 国際的な情報をつなぐ



地域ESD活動推進拠点
＜地域ESD拠点＞

地域で先導的、波及効果の高いESD活動を実践している組織・団体や、地域でESD活動を支援している組織・団体などの協力を得て形成。

地方ESD活動支援センター
＜地方センター＞

広域的なハブ機能を担い、地域におけるESD活動の支援等に取り組みます。

ESD活動支援センター
＜全国センター＞

全国的なハブ機能を担い、ESD活動の支援等に取り組みます。

2

ESD活動支援センター（全国センター）の開設

平成28年4月 官民協働プラットフォームとして、ESD推進ネットワークの全国的なハブ機能を担う「ESD活動支援センター」を開設

平成29年度の活動事例

日時 平成29年11月24日（金）
平成29年11月25日（土）
会場 立教大学
参加者数 延べ260名
（関係者含む）



ESD推進ネットワーク 全国フォーラム2017

地域におけるESDの
さらなる展開に向けて

【プログラム構成】

- セッション1 基調パネルディスカッション
- セッション2 ポスター発表・情報交流
- セッション3 関係省庁におけるESD関連施策
- セッション4 分科会：地域ESD拠点の可能性
- セッション5 総括



その他、相談業務、ウェブサイトの開設、若者世代による情報発信等を実施

3

地方ESD活動支援センター（地方センター）の開設

平成29年7月～ 地域における官民協働プラットフォームとして、広域的なハブ機能を担う「地方ESD活動支援センター（地方センター）」を全国8箇所に順次開設

経緯

平成28年11月～ 広域的なハブ機能を担う「地方ESD活動支援センター」の設立準備開始

地域においてESDを実践・支援している組織への協力依頼、ヒアリング、意見交換等の実施

全国8箇所に地方ESD活動支援センター（仮称）設置準備委員会を設置し、検討を開始

平成29年7月以降、各地方ESD活動視線センターを順次開設

- ・7月1日 四国・九州
- ・7月3日 東北・関東・中部・中国
- ・7月28日 近畿
- ・9月29日 北海道

平成29年度の活動事例

ESD学びあいフォーラム
～SDGsでつくる四国の未来～



日 時 平成29年7月1日（土）11:00～15:00
会 場 香川県社会福祉総合センター
参加者数 95名（関係者含む）